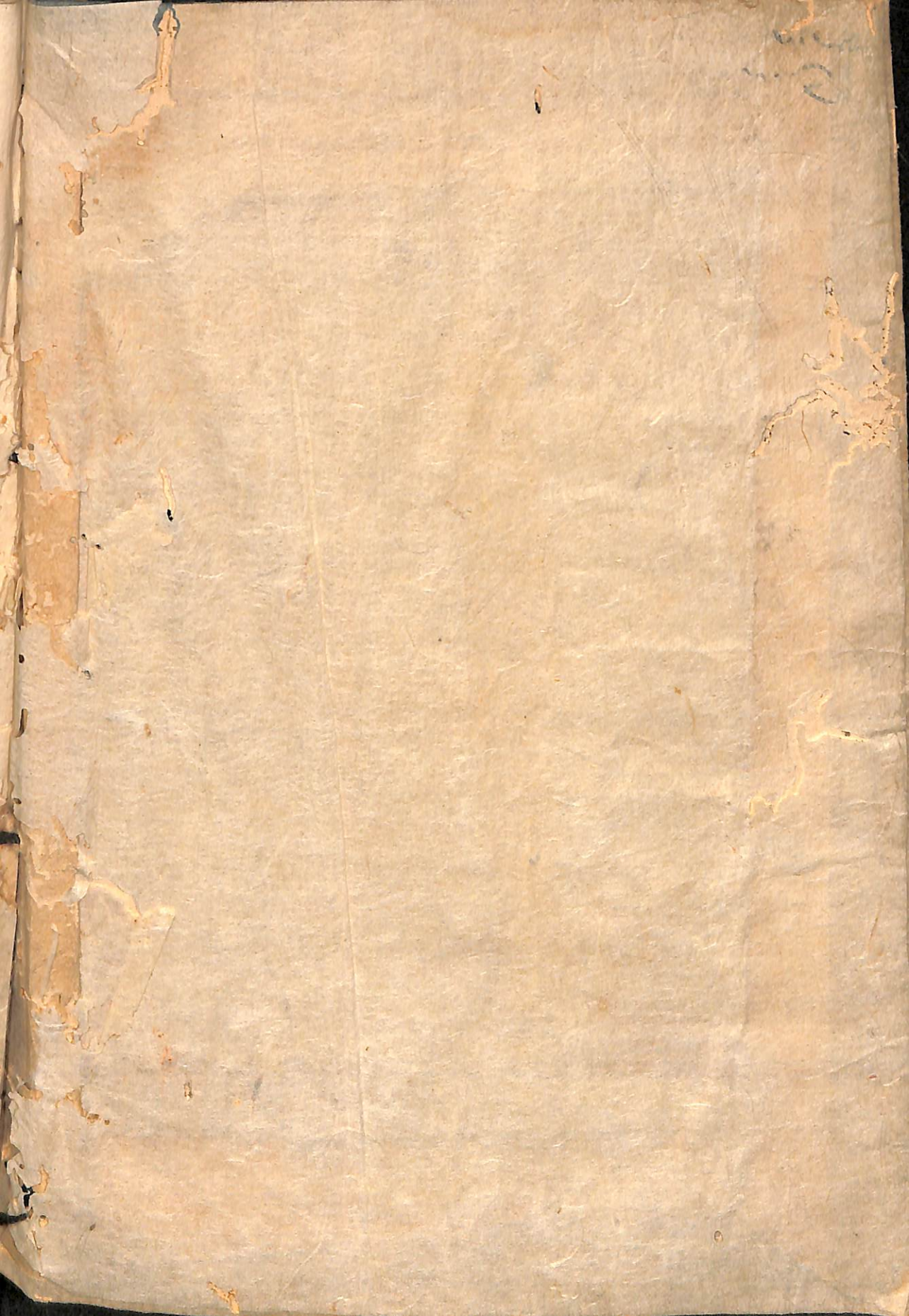


增

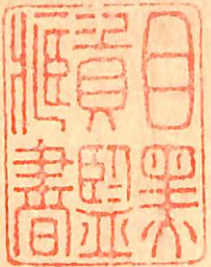
欵枕狝乃寢覺

山

911.1  
7  
1







往昔いよるあつらわく徳富の名  
 所とあひめ山野白海乃部類と  
 わら其とて海は流しとふ本奇  
 縁の初枕言祭系物等と志し  
 て奇枕秋の縁と免となしとて

いひおれ上はむかひて旅の便と  
早草はあめりかむかひの便と  
西のむかひあめりかのむかひ  
かよふもむかひあめりかのむかひ  
為のむかひあめりかのむかひ

孫のむかひあめりかのむかひ  
さむかひあめりかのむかひ  
あめりかのむかひあめりかのむかひ  
あめりかのむかひあめりかのむかひ  
あめりかのむかひあめりかのむかひ  
あめりかのむかひあめりかのむかひ

此は其の事なりと云ふは  
ハ先小はしと省略せし未だ  
法名所又ハ證哥と云ふ加して其  
縁起の事なりと云ふは  
と云ふ事なりと云ふは

此の事なりと云ふは  
欲其光清と云ふは  
と云ふ事なりと云ふは  
此の事なりと云ふは  
まゝなりと云ふは

意... 人

其功... 又

あ... せ

洛下後学

以敬齋長伯

○ 允例

一 允け書ハ山形江海乃... 川里... 一 系物ハ... 一 山形... 一 山形...

今にのみみりて記す物ありて申すにようて川  
は柳原乃山吹蛙たすみたりと云ふ  
よらんきり

一 今に後たれいきとて例なりとていふも川も  
里にもよむべきありたるに初瀬とよ部とを  
よみて里川よの例なりとていふはよむ  
かよいて後たれいきとていふも川も  
やとまたりとて里川よとていふも川も  
この類い見ありていふはよむとていふも川も  
とていふとていふ物とていふはよむとていふも川も  
前記 かりのいふとていふはよむとていふも川も

前記とていふはよむとていふも川も  
ぬい見ありていふはよむとていふも川も

一 浦淡深漆磯かて後たれいきとていふも川も  
とていふはよむとていふ物とていふはよむとていふも川も

一 今に乃府に集付或ハ一字二字三字とある  
とていふのゆゑにありて例なりとていふも川も

一 今に乃府に集付或ハ一字二字三字とある  
とていふのゆゑにありて例なりとていふも川も  
一 今に乃府に集付或ハ一字二字三字とある  
とていふのゆゑにありて例なりとていふも川も  
一 今に乃府に集付或ハ一字二字三字とある  
とていふのゆゑにありて例なりとていふも川も



景物集附略字

萬 萬葉

古 古今

後 後撰

拾 拾遺

後拾 後拾遺

金 金葉

詞 詞花

千 千載

新古 新古今

新勅 新勅撰

續 續後撰

續古 續古今

續拾 續拾遺

新撰 新撰撰

玉 玉葉

續千 續千載

續後 續後拾遺

風 凡雅

新千 新千載

新拾 新拾遺

新遺 新後拾遺

新今 新續古今

六 六帖

新六 新六帖

現 現存六帖

人 人九集

家 家持

朝 朝志

順 源順

元 元真

忠 忠見

裔 裔宮

盛 兼盛

小 小大君

躬 躬恒

重之 重之

元輔 元輔

伊勢 伊勢

中 中務

信明 信明

忠岑 忠岑

小町 小町

能 能宣

貫 貫之

月 月清

後京 同

後成 家集

詠 同

拾玉 拾玉

山 山家

吟 玉吟

家隆 同

愚 拾遺愚草

定 同

雅經 雅經

雅 雅有

音 定音

賴 賴政

惠 惠慶

顯 顯中

實 實方

相 相模

清 清正

後鳥 後鳥羽院

順德 順德院

衣笠 衣笠府

清輔 清輔

後 後賴

下 下野

成定 成定

知家 知家

道信 道信

匡房 匡房

實家 實家

為相 為相

公 公任

為 為家

阿 阿宣

有 有忠

仲忠 仲忠

後德 後德天寺

好 好忠

宗千 宗千

正徹 正徹

榮千首 榮雅千首

世補

行行家

耕雲千首

錄錄倉右大臣

成茂成茂

柏柏玉

雪雪玉

碧碧玉

計玉計

草草庵

明明玉

題題林抄

秋秋風抄

春春雨抄

藻藻塩

新新葉集

名名寄

良良玉

類類聚

散散本集

方方与

懷懷中抄

雲雲葉

七七帖抄

葉後葉集

万万代

一字一字抄

藏藏集

現現葉

續撰吟續撰

禪林百首

童童蒙抄

袖袖中抄

仙覺仙覺

宗宗良親王

師師兼千首

千首馬尹

百百番可合

楚楚急百首

永德百首

稻稻荷百首

弘弘長百首

建建保百首

正正治百首

堀堀川百首

堀後堀次郎百首

藤藤川百首

寬百寬治結縁

鷹鷹百首

白川百首

洞洞院移政家百首

建長八年百首合

日吉社

石石清水

建保合

治建治百首

宝宝治百首

久久安百首

古來合

建名建保名所百首

新宮合

詩哥合

影影供可合

建仁合

野野官千首

祐子内壘家合

千五千五百番合

六百六百番

神神通百首

日日本紀竟冥和可

長長門道之記

海海道記

催催樂

孫孫姬式

伊物伊勢物語

歌歌集

大大和物語

衙官合

貝衙官貝合

廣廣田社

五社五社百首

將將軍家

延延文百首

海道百首

七社百首

延喜六史家合

四四天王寺摩子

和奇

目錄

山

百

洞

林

橋

深

灘

冲

淹

嶺

根

岡

野

海

鴻

門

洲

川

谷

九

路

原

浦

倚

渡

瀨

江

杓

九

關

牧

濱

津

渡

岸

沼

坂

九

森

田

漆

泊

磯

湖

澤

一百一

九十九

四十五

九十二

九十一

八

三

五

五

五

九

三

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

五

七

六

二

二

二

池	<small>三百 廿三</small>	堤	<small>三百 廿一</small>	井	<small>同</small>	水	<small>三百 廿六</small>	湯	<small>三百 四十</small>
都	<small>宮三百 四十一</small>	里	<small>三百 四十八</small>	村	<small>三百 四十九</small>	市	<small>三百 五十二</small>	驛	<small>三百 五十三</small>
水郷	<small>三百</small>	寺	<small>三百</small>	社	<small>宮三百 五十八</small>	雑	<small>三百 五十九</small>		

増補秋林乃孫光巻之一

山とせしれ影しは家嶽高根岩坂尾とかなとて

○山 相うありの衆皆さしんりは山とせしれ影しは家嶽高根岩坂尾とかなとて

ちあやりの衆皆さしんりは山とせしれ影しは家嶽高根岩坂尾とかなとて

わし松の 名も山の 山の 影の 影の 影の 影の 影の 影の 影の 影の 影の

冬の 冬の 冬の 冬の 冬の 冬の 冬の 冬の 冬の 冬の

山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の

松の 松の 松の 松の 松の 松の 松の 松の 松の 松の

山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の

山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の



Handwritten text in a cursive script, likely a historical or administrative document. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. It begins with a character that resembles a hash symbol (#) and contains various characters and symbols, including some that look like letters and numbers. The script is dense and flows from right to left across the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. It is contained within a rectangular border and consists of about 12 lines of text. The script is highly stylized and appears to be a continuation of the same document or a related one. It starts with a character resembling a hash symbol (#) and includes various symbols and characters throughout.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index of items. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. The characters are highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the script.

山  
石  
蔵  
の  
名  
目

三

山城石蔵

拾

Handwritten text line, possibly a title or entry.

日教單 神 野

Handwritten text line.

Handwritten text line.

日給荷

Handwritten text line.

Handwritten text line.

麻 雪 村 爲 交 爲

の 杖 杖 の 名 杖 の 名 杖 を う 杖

山  
石  
蔵  
の  
名  
目

三











信法大相

いぬのりまの山 書 湯 湯りの山陽と傍り

史本 一きけねのりまのりまのりまのりまのりまの大相のり 先後  
いぬまのりま

懷中

いぬまのりま

陸奥

いぬまのりま

いぬまのりま

いぬまのりま

いぬまのりま

いぬまのりま

いぬまのりま

十載

いぬまのりま

左記本史教輔

出羽  
板敷

いぬまのりま

史本

いぬまのりま

越前  
伊津波多

いぬまのりま

新亭

いぬまのりま

越中  
伊頭部

いぬまのりま

丹波  
船村

いぬまのりま

史本

いぬまのりま

日  
繁坂

いぬまのりま

史本

いぬまのりま

信長

死耶

後人志

後人志

伊呂

長名

北新抄ノ和歌一ノ巻

後立

但馬

くさくさの 様ろり 女附日 時香

くさくさの 様ろり 女附日 時香

くさくさの 様ろり 女附日 時香

日 女附日 方松

様ろり 女附日 時香

くさくさの 様ろり 女附日 時香

石見味

くさくさ

くさくさの 様ろり 女附日 時香

詞半小石身より

匡房

備中孫高

くさくさの 様ろり

日

くさくさの 様ろり 女附日 時香

日

くさくさの 様ろり 女附日 時香

周防

くさくさの 様ろり 女附日 時香

くさくさの 様ろり 女附日 時香

五四

くさくさの 様ろり 女附日 時香

紀伊 妹背

妹背の山にありては妹背の山にありては

まへにありては妹背の山にありては

うらまへにありては妹背の山にありては

とありては妹背の山にありては

山田 細谷川 瀧 遠ののり 藤井の山

あつたての妹背の山にありては

けしやんやうやうやう

日 妹 500

今來 妹背の山にありては

今來 妹背の山にありては

紀伊 妹背

妹背の山にありては妹背の山にありては

まへにありては妹背の山にありては

うらまへにありては妹背の山にありては

とありては妹背の山にありては

山田 細谷川 瀧 遠ののり 藤井の山

あつたての妹背の山にありては

けしやんやうやうやう

日 妹 500

今來 妹背の山にありては

今來 妹背の山にありては

五月の 雲 松 岡

妹背の山にありては妹背の山にありては

妹背の山にありては妹背の山にありては

松 岡 五月の 雲 松 岡

妹背の山にありては妹背の山にありては

妹背の山にありては妹背の山にありては

松 岡 五月の 雲 松 岡

妹背の山にありては妹背の山にありては

妹背の山にありては妹背の山にありては

妹背の山にありては妹背の山にありては

此種和名は...

神 花

花の身は... 花の心は... 花の葉は...

花の根は... 花の茎は...

花の果は... 花の實は...

花の皮は... 花の肉は...

花の骨は... 花の髓は...

花の血は... 花の脈は...

花の精は... 花の神は...

花の魂は... 花の魄は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...

花の神は... 花の靈は...







山崎村新田

日 時鳥 名 時鳥 名 時鳥 名 時鳥

日 細焼 名 時鳥 名 時鳥 名 時鳥

大和 丹生橋 名 時鳥 名 時鳥 名 時鳥

上野 新田 名 時鳥 名 時鳥 名 時鳥

越前 丹生 名 時鳥 名 時鳥 名 時鳥

大和 細川 名 時鳥 名 時鳥 名 時鳥

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

名考 名考 名考 名考 名考

形古 古 志はじ 日 何多 蟬 名 山吹 日 月 麻 松雲

・栲衣 後古 人 志ま 今 昔 注言 時取

・白雲 二葉の雲 山 推の下 采 志の音 奥の志 名

・龍 藤 藤 藤 林 志 森 日 里 日

古今 思ひ出るを無の心 世やま 平次 初 何よ かつら せき

日 娘くれと色すうり かつら びん せき せき せき せき

丹波 同 日 名 林 日 雪

名寄 父の常盤の山 林はくと 狭ひら 一 山代 の 山

相模 同 日 新後撰 かつら びん せき せき せき せき

此等志集り山吹の常盤の山 せきと 新後撰

集賢の平時花の常盤の山 せきと 新後撰

とらふとらふとらふとらふとらふ 今考ふ 不相列 何人の

あき山あり 一 別時花の山 花あり

山城 鳥羽 山 後古 志 鳥乃 一 山 松 平 一 志 せき せき せき

時鳥 志 藤 丁 尾花 山 雪 田 志 里 日

白鳥のとらふ山 志 せき せき せき せき せき せき

鳥羽 山 かつら びん せき せき せき せき せき

時鳥 志 藤 丁 尾花 山 雪 田 志 里 日

山 志 せき せき せき せき せき せき

多し 浅らつ山 かつら びん せき せき せき せき せき

天和 十市 志 せき せき せき せき せき せき

時鳥 志 藤 丁 尾花 山 雪 田 志 里 日

あしん 後人 類 歌

徽安門院

海のほとりへくらり中をたひとる朝のたづねて秋のしづかに  
馬油 或末劫 兼中  
とらふまねの山 くらまねと書み等候を物の手らふてあかやな  
兼中

出の馬のついでに  
くらりてのてらつと後り春よとをて多読書か  
兼中

時鳥 五月 鷓 藤 雀 永 鷲  
兼中

松の 後り 松の 若ひろ 兼中 後人  
兼中

東のわたのたのふあふなる川をさしてて祇名とらうて  
兼中

同 兼中 兼中 兼中  
時鳥 五月 鷓 藤 雀 永 鷲  
兼中

松の 神 松 園  
兼中

大伴家持  
百十七  
あしん 後人 類 歌  
兼中

舟版 兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中

兼中  
しづかの山  
兼中







日 小地敷  
まじりての山 小地敷とてしるすを流る

音 松 日 白雲 凡 神垣 日吉の神

早本 大いなる木をまじりての山を流るをまじりての山を流る  
信濃 興 指 吉流りての山を流る

日吉の山を流る 日吉 松 五 五月 卯 元  
はしき 麻 新 根 後 千 後 松 兼

草 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
山を流る 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

上野 小 新 田 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
紀伊 音 海 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

山を流る 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

日 緒 持 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

夕立 月 松 松 松 松 松 松

万七 年 けりての山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
流 破 取 置 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

明 玉 海 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
名 考 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

若 草 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
名 考 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

日 和 豆 香 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

万三 山を流る 山を流る 山を流る 山を流る  
山を流る 山を流る 山を流る 山を流る

相模和乎可 五平 相模 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

近江 和乎 可

相模和乎可 五平 相模 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可

近江 近江 和乎 可



山崎の松

・非のりみら 志保のひそら 杉木 りとあゝの極 松木 折葉

あゝ柏 杉木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 の茶 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木

アヒ 松木 とわれ 松木 ちのうら 松木 山 松木 とみり 松木 の 松木

ア 松木 の 松木 表 松木 禁 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 川 松木 松木

ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木

鏡 松木 の 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木

ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木 ちのうら 松木

見 松木 子 松木 日 松木 松 松木 松 松木 月 松木 松 松木 の 松木 松 松木 松 松木 松 松木

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

原 松木 瀧 松木 大井川 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

日

松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木 松 松木

山崎の松

小坂の石 後合 泉川 後合 みよの泉 後合

初夢 後合 夢 後合 河原 後合 立 後合 杉原 後合 菅 後合 山根 後合

東 後合 初夢 後合 夢 後合 河原 後合 立 後合 杉原 後合 菅 後合 山根 後合

春日 後合 夢 後合 河原 後合 立 後合 杉原 後合 菅 後合 山根 後合

梅 後合 鶴 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

藤 後合 松 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

神 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

坂 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

の和甲 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

神野 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

大和 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

春柳 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

心 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

と 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

を 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

形 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

系 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

丁 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

か 後合 竹 後合 石 後合 氷室 後合

竹 後合 石 後合 氷室 後合

後於 志留のさう 正捕 神 ころみの神 山 山

一 名 有 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

平山

神南備 備中丹後 同右あり

みりまの 一の正字あり 千子後 一 中 付

あらし 柳 けりひ 柳 けりひ 柳 けりひ 柳 けりひ

志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

川 里 日 園 日

片園 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

麻 月 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

袖 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

神志 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

神直 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

神志 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

伊勢神道 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の

志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の 志留の



春 鎌倉の御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

陸奥

陸奥 陸奥

月

金

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、

御代に於ては、  
御代に於ては、





言今 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

日 横田 後人 嘉

和泉横

武藏

同

五十二

近江横田

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

和泉横

武藏

同

五十二

近江横田

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

和泉横

武藏

同

五十二

近江横田

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同







高松 月・寺・森・曹・萱・滝  
高松の寺あり  
 雲・冬・根・た・海  
高松の寺あり  
 又・高・あ・て  
 せん・た・て・て  
般羅皇后

高松 月・寺・森・曹・萱・滝  
高松の寺あり  
 雲・冬・根・た・海  
高松の寺あり  
 又・高・あ・て  
 せん・た・て・て  
般羅皇后

高松 月・寺・森・曹・萱・滝  
高松の寺あり  
 雲・冬・根・た・海  
高松の寺あり  
 又・高・あ・て  
 せん・た・て・て  
般羅皇后

高松 月・寺・森・曹・萱・滝  
高松の寺あり  
 雲・冬・根・た・海  
高松の寺あり  
 又・高・あ・て  
 せん・た・て・て  
般羅皇后

多武 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松 月 たびの山 ちまたの山  
高松

高松の寺あり

高松の寺あり

高松の寺あり

高松の寺あり

此種和名は後述の如し

高師 たりし山 凡 白波の 名 花 至 五月 蟬

麻 類 名 月 お家 類 日 松 名 志 類 名 一

淡 浦のま 類 名 一 の奥 淡名橋 富士日

相模 左野 常陸 玉横 なるの 山 郭と

橋百首 延鷹 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

此種和名は後述の如し

此種和名は後述の如し

玉緒 たりし山 凡 白波の 名 花 至 五月 蟬

麻 類 名 月 お家 類 日 松 名 志 類 名 一

淡 浦のま 類 名 一 の奥 淡名橋 富士日

相模 左野 常陸 玉横 なるの 山 郭と

橋百首 延鷹 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ 山 ありきれ

此種和名は後述の如し

石見 松山 海國の海と 高合 宇治川 日

百十一 けりてみきふとよのさのころつらりてみくらきとわじぢりて

たるんぬ 百一 の松と 辰 敷 辰 子藤 辰 さしり 辰

信濃 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

高御倉 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

日 高井 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

日 多波志根 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

家持 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

丹波 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

能登 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

越中 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

丹波 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

備中 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

同 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

大井山 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

石見 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

高田 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

高岡 霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

霧あつたりつみのいよさなれ川民もくまものそ社あり 辰

地神

高角 石見 石見 石見 石見 石見

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

たうさのみん 石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ

石見のわたりの山やまにけさみせんよれけさみ



後後り おひはへと 日 けはけは 又きりてをて後

意の心多整り 花 鹿 日 みの葉ま白 日 しろの花

後後櫻 日 花 日 柳 日 麻 日 志れ 後後葉

万 音 建 まつた 日 志くう 万 音 日 志くう 志くう 志くう

新和 白雲 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

川 万 形 志くう 後合 志くう 志くう 志くう

日 けはけはのふりては 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

新古今 けはけはのふりては 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

近江 龍馬 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

出羽 目之

けはけはのふりては 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

後合 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

本質 郁氣 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

丹波 能 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

日 弦打 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

日 都流 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

日 津集 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

日 妻恋 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう

夕けは 志くう 志くう 志くう 志くう 志くう





日 ながしきのこ さばやー 夢ののれー ちろうのまえに

後あしーとらひらけらう 後花 又丁 今お祭 後月

葉麻 水叶 又藤 玉松 日藤 新昔 後雲 日花 新心

ト 後心 又の井 又田 新意 又漢 水志 又美 日の里 大

村の里 後合

奈 長尾のこぶの浦浪水のてあしきのひれ海をてま

丹 長尾のこぶ 又近 又日 又名 又あ 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う

ミ 考 又の 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を 又を

日 長尾のこぶ 又官 又あ 又ら 又う

本 長尾のこぶ 又官 又あ 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

播 長尾のこぶ 又官 又あ 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

日 名 長尾のこぶ 一本奈保利

後中 又長田 又わ 又あ 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

允仲 又名草 又わ 又あ 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

本 長尾のこぶ 又官 又あ 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

凡雅 又白 又ま 又の 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

日 郡智 又の 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

後 今 又の 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

土 名 又の 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

後 孫 又の 又ら 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う 又う

孫 孫子鳥 雲 日 月

曾浦火の...

式乾門津江重

鏡前名見 百六 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

かたご 六百七 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

かたごの山 六百八 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

山城馬咋 六百九 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

むらさき 七百 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向 七百一 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百二 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百三 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百四 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百五 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百六 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百七 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百八 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 七百九 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百一 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百二 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百三 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百四 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百五 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百六 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百七 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百八 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

日向の山 八百九 名々の山々ありて我々の山々の二年とありて

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

天竺

流の宗像

しづか山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

城 宇治

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

橋日 渡日 都日 川日 けいせき山 けいせき山

古今 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

多く宇治のけいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

月 丸生

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

河 里 野

わが国 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

月 牛尾

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

大和

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

末

月 敵

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

原の宮にて神武の天皇ありて

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

日 万

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

日 占手

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

名 名

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

伊勢

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山 けいせき山

伊勢



月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

石見打放 花 月

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

土佐 打 名考 月 雨 雲 月 雨 雲

野馬 上方 時鳥 月 雨 雲

未期 假寝 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

大和 猪養 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

括弧 撰名

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

伊賀 井 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

近江 野 月 雨 雲

若按 後 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲 月 雨 雲

道長 月 雨 雲

後松 山崎の物とや今松と云へ後松の山は秋の夕暮  
能登 能登の山 万七 舟木と云へ山崎の山は秋の夕暮  
の山崎の山 万七 舟木と云へ山崎の山は秋の夕暮  
大徳寺

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

未勘能登香 万七 山崎の山は秋の夕暮  
山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

山崎大内 大やう松申よと云へ後松の山

北和利ノ巻一ノ巻

百十五

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

秋 志

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

神楽 野 相

曾南大

百十五



全案 天の橋立日 夕那 大坂御て  
おほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
小太ア

おほしきりおほしきりおほしきり

同 おほしきり 近江の白木と 小太アおほしきり

長門 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

六帖 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

紀伊 大兼 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

日 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

筑前 大城 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

百 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

今 名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

日 大坂御 名 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

百 名 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

未劫 名 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

日 名 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

山城 名 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

名号 小太アおほしきりおほしきりおほしきりおほしきりおほしきり  
おほしきり

世宗天皇御紀卷之四

世宗天皇御紀卷之四



飛弾位

くろい山 ありく官位の... せをそよせり

五月... 花... 子

香... 月... 松... 小松

木... 坂... 葉... ありの石

志根... 雲

下野... 花... ありあ

くろい山 花... ありあ

大月... 菅笠

し... ありあ

陸奥... 麻... ありあ

くろい山 麻... ありあ

六... ありあ

丹後... ありあ

くろい山... ありあ

英作... ありあ

くろい山... ありあ

紀伊熊野... ありあ

くろい山... ありあ

を前柄細... ありあ

山城山科... ありあ

くろい山... ありあ

くろい山... ありあ

曾... ありあ

ありあ

日 櫛 松  
 中... 松... 河... 松...  
 松... 松... 松... 松...  
 松... 松... 松... 松...  
日 夫 物  
 中... 川...  
五  
 中... 松...  
撰 八 直  
 中... 松...  
日 身 若 皇 松 松 松  
 中... 松...  
 中... 松...  
耳 名  
 中... 松...  
石 上 五 松 松 松 松 松 松  
 中... 松...  
伊 野 神 主 松 松 松 松 松  
 中... 松...

中... 松... 松...  
 中... 松...  
日 夫 物  
 中... 松...  
須 松 松 松 松 松  
 中... 松...  
城 松 松 松 松 松 松  
 中... 松...  
須 松 松 松 松 松  
 中... 松...  
日 松 松 松 松 松 松 松  
 中... 松...  
主 松 松 松 松 松  
 中... 松...

弘法儀 神のむひさる勢 朱のむ垣 松の林  
 山玉垣の朱もとのむ垣れし者ありちと松れかの山  
 由りたすむ山 河合やまのむすもをへんうに清くらん  
 由るむ山 由るむ山 由るむ山 由るむ山

の山ありてあつる巻向日城宮の雲に天宮其宮居  
 ありき向日伏宮の景行天皇の白皇居あり

万鹿 花 松系 山氷 小松系  
 後千 新介 新初 後千 新初 新初 新初  
 呼子り 呼子り 呼子り 呼子り 呼子り  
 松系 山氷 小松系 呼子り 呼子り  
 松系 山氷 小松系 呼子り 呼子り

天和 五子 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山

山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山

山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山

山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山  
 山門の山 山門の山 山門の山 山門の山

山門の山 山門の山 山門の山 山門の山



上村新田の事

月 益神 草木  
由良の事 神を祀りて行へり

日 焼 岩  
此の事 神を祀りて行へり

山城 布留  
言の事 神を祀りて行へり

月 船  
此の事 神を祀りて行へり

神を祀りて行へり

—の事

日 草木  
秋之末 神を祀りて行へり

秋之末 丁 藤 鶴野 杉 萩 萩

藤の指 野 里 村 田 沢 日

中流川 後合

新谷 此の事 神を祀りて行へり

月

深草 此の事 神を祀りて行へり

竹 此の事 神を祀りて行へり

日 二葉 草木  
此の事 神を祀りて行へり

大和 布留  
此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり

此の事 神を祀りて行へり











此後... 此後... 此後...

然後 然 <sup>六</sup>の山 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>の丁 <sup>九</sup>の平 <sup>十</sup>の車

後 承 <sup>至</sup> 亨 <sup>也</sup> 松 <sup>の</sup> 松 <sup>の</sup> 里

松 <sup>七</sup>の山 <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のけ <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま <sup>十三</sup>のま <sup>十四</sup>のま <sup>十五</sup>のま

仙 <sup>子</sup> 吹 <sup>川</sup> <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま

去 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま <sup>十三</sup>のま <sup>十四</sup>のま

紀 <sup>伊</sup> <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

五 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま <sup>十三</sup>のま <sup>十四</sup>のま

流 <sup>石</sup> <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

二 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま <sup>十三</sup>のま <sup>十四</sup>のま

月 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

未 <sup>七</sup>のま <sup>八</sup>のま <sup>九</sup>のま <sup>十</sup>のま <sup>十一</sup>のま <sup>十二</sup>のま

北河内郡 藤原郡 藤原郡

龍寺 ついで 龍ヶの 畔ける 松の庄

大井川 松の里 八無瀬 後合

日 同今今あじのふをせよ人々の声そより 後合

わさりの心 虎 古 松つひ人 河魚 氷 雪 名 枝折

日 松の木の枝 本 虎 原 古 梅の原 後合

六宿 秋よりよ行のあじのふをせよ 後合

名考 秋よりあじのふをせよ 後合

日 栗田 秋より 古 松 本 松 本 松 本 松

名 お飯 後合

日 有 秋 秋よりあじのふをせよ 後合

わさりの心 冬川と下流り 時を

日 朝日 秋よりあじのふをせよ 後合

月 冬 立 月 秋 松 古 松 古 松 古 松

雪 松 松 古 松 古 松 古 松

宇治 日 松 古 松 古 松 古 松

日 秋 松 古 松 古 松 古 松 古 松

あじの心 丁 麻 音 月 松 松

松 古 松 古 松 古 松 古 松

天和 松 古 松 古 松 古 松 古 松

何れか 古 松 古 松 古 松 古 松

昔 昔 昔 昔 昔 昔

いふ時ぐとて濁して強て文字ありてあり

天徳山 天照を林玉の志戸よ 天徳山 たつらにちて天の香の

香来山 日 香来山 天の香と 香来山 天の香と

を神志戸の志戸とて濁してありてありてありてあり

しにちて神志戸の志戸とて濁してありてありてあり

名の字とて持統天皇の御名ありてありてありてあり

神のうとて濁してありてありてありてありてあり

月麻 お祭 志来 お祭 志来 お祭

約日 日 松 日 志来 日 志来 日

神代 志来 志来 お祭 志来 お祭

ありてありてありてありてありてありてありてあり

むく麻 新物 林 新古 十市の里 後合 志来 新古

月 音香久 志来 新古 志来 新古 志来 新古

月 音香久 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

志来 新古 志来 新古 志来 新古 志来 新古

和泉荒

日 赤膚 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三

日 青垣 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

日 青菅 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

日 青根 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

山 菖菜 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

和泉荒

日 赤膚 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三

日 青垣 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

日 青菅 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

日 青根 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

山 菖菜 あつらひ 一 あつらひ 二 あつらひ 三 あつらひ 四 あつらひ 五

伊勢 朝香 陸奥国 日永 市原 市原三

夏 時分ておひる河海の南やまて物よのたつらひん

日 相見 ありの山 ぼくの山五百きりさるるその遠さをへりよの暮に

日 朝明 ありけの山 名 鹿 花 暮衣 山の下あ 名 ちのあ

源 郡 ありけの

三河 雨 ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

相模 足柄 ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

時鳥 麻 ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山

ありの山 ありけの山 ありけの山 ありけの山



帝陸 芦穂 天 桧 建 麻 小 白雲 日 暮 流 渡 び の ろ ち ち ち ち ち ち

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花

あしほのよき思ひをうらみ 鹿 葛 梅 花





五葉集

阿利木

あきさの山 去 ちく松

百代はあきさの山はちく松ちくちりやばうとまじり

感長 船工

有波 河波

あきの山 胃のこきさしうらまはつのはらけて漕舟にあり

流前 朝倉

あきさの山 名 花 日 暮 付 暮 ちく松 くの雲

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

新古今

新古今のあきさの山はちく松ちくちりやばうとまじり

日 芦城

あきさの山 行 暮 野 日

依古祥

百二

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

吾和 荒

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

肥後 阿素

あきさの山 上 野 日 暮 野

五葉集

阿利木

あきさの山 去 ちく松

百代はあきさの山はちく松ちくちりやばうとまじり

感長 船工

有波 河波

あきの山 胃のこきさしうらまはつのはらけて漕舟にあり

流前 朝倉

あきさの山 名 花 日 暮 付 暮 ちく松 くの雲

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

新古今

新古今のあきさの山はちく松ちくちりやばうとまじり

日 芦城

あきさの山 行 暮 野 日

依古祥

百二

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

吾和 荒

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

肥後 阿素

あきさの山 上 野 日 暮 野

新古今

新古今のあきさの山はちく松ちくちりやばうとまじり

野馬 須茅

あきさの山 行 暮 野 日

百二

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

未勸 曉

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

月

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

月

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

日 安部 治

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

日

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

日 安部 治

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

日

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

悪多

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

あきさの山 ちく松 ちく松 ちく松 ちく松

地神... 神代...

日 赤木 イカリ 万代はわたるの心... 後入木

日 秋凡 本 あらまの心... 心

日 南 心 あらまの心... 心

日 葺田 名考 あらまの心... 心

日 熱佐 名考 あらまの心... 心

日 珠積 名考 あらまの心... 心

日 向北中 名考 あらまの心... 心

山城 山城 あらまの心... 心

とひとらう 名考 子音 名考 花 名考 月 名考 音 名考 照る日の

乳 押幸 名考 あと馬 名考 望月の物 名考 宿 名考 一の心本

田 千代の存心 後入 芥川 日

後現 心 万の心... 心

相 樂 心 万の心... 心

鷺 坂 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

白鳥 心 万の心... 心

北極星の宿の事

北極星

古今 佐伯の地をいへりて北極星の宿の事なりと云ふに  
日 秋分の日をいへりて北極星の宿の事なりと云ふに  
日 佐伯の地の事なりと云ふに

くまの宿の事なりと云ふに

日 佐伯の地をいへりて北極星の宿の事なりと云ふに

百十 佐伯の地の事なりと云ふに

日 佐伯の地の事なりと云ふに

百七 佐伯の地の事なりと云ふに

日 佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

京

遠江 佐夜中 佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

佐伯の地の事なりと云ふに

千載 佐伯の地の事なりと云ふに

近江小竹生の山 名多し 田舎の山 後 山崎の山

名多し 山崎の山 後 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

丹波の山 近江の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山

山崎の山 丹波の山 山崎の山





北神... 紀伊

古今 海のつまの中山帯... 細谷川... 名のあけ

はきと... 紀伊 四目

まのり... 紀伊 四目

まのり... 紀伊 四目

まのり... 紀伊 四目

未向城

まのり... 紀伊 四目

甲斐... 紀伊 四目

丹波... 紀伊 四目

日... 紀伊 四目

名... 紀伊 四目

洗前未綿間

一本未... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 雲... 家... 葉... の... 里

名... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 月... 藤... 松... 街... 名

名... 月... 藤... 松... 街... 名

西... 南... 水... 井... 井... 井...

北神和の巻

日 言 水無味 一本皆味 寛平之寺合山藏トキ 凡志記名所集ハ

括注四下有仍室相本括注云云

日 仲核 或仲生所又三刑 五 ありひとるなり 野 有

名考 みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり 水

日 三室戸 みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり 水

はもつ又とつらさし小宿る月之神さひよきり

日 御倉 みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり 水

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

日 仲核 或日朝いとつらさし小宿る月之神さひよきり

大織冠

泳後殿

大和

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

みるれいさうとつらさし小宿る月之神さひよきり

品目

三十一





杉建 栞建 栞の木 合 葦の小笠 建 柿の 合 こと馬 百 宣伝

月 玉瓊わりの 神建 のらしき 後後 みるち 合 ゆうて 百 ころり子

を 谷 後合 わう守 斎多の 斎後合 さいまの山 後合 神後千 の川日

市 立田川 日

冬 立田川おはらあつた 神あひら のさきあは らのたかあは けり神 をらあは くらあは せあは せんあは 人丸

神あひら のさきあは らのたかあは けり神 をらあは くらあは せあは せんあは 人丸

日 かつたすあは けりあは まあは くらあは せあは せんあは 人丸

日 丹根 山 ーの山 合 わーのーのーの合 まあは くらあは せあは せんあは 人丸

日 町名 麻 後 お合 茶 合 くらあは せあは せんあは 人丸

日 三合 船 かんあは ざあは だあは じあは とあは 丹根 山 あは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

日 三合 船 かんあは ざあは だあは じあは とあは 丹根 山 あは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

かんあは のひあは たらあは せあは せんあは 人丸

玉宮  
消すをばしとさみろふ先をまきのり来とくせし  
後水  
三つ山  
山本をきく後  
花  
村島  
森  
あ家

月  
松  
岩  
ゆゆうもま  
おのれ後  
史跡のは指

川  
松  
橋井  
里  
月  
松  
三つ山  
みよふ松よとまよひさひの鳥侍つとて侍や  
御影  
卯花  
月  
松

日  
三つ山  
みよふ松よとまよひさひの鳥侍つとて侍や  
御影  
卯花  
月  
松

日  
三つ山  
みよふ松よとまよひさひの鳥侍つとて侍や  
御影  
卯花  
月  
松

日  
三つ山  
みよふ松よとまよひさひの鳥侍つとて侍や  
御影  
卯花  
月  
松

日  
三つ山  
みよふ松よとまよひさひの鳥侍つとて侍や  
御影  
卯花  
月  
松

日  
三つ山  
みよふ松よとまよひさひの鳥侍つとて侍や  
御影  
卯花  
月  
松

三河  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

相模  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

常陸  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

見取  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

近江  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

三尾  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

三上  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

三上  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿

三上  
池  
あ  
お家  
あひり  
あまの殿



紀年三栖... 待... 杜...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...



月・雪・雲 乙への縁 後合

常陸備 志の山 乙への縁 乙への縁 乙への縁

梅 栲 竹 麻 音 姿 乙への縁

田井 乙への縁

梅 栲 竹 麻 音 姿 乙への縁

梅 栲 竹 麻 音 姿 乙への縁

梅 栲 竹 麻 音 姿 乙への縁

梅 栲 竹 麻 音 姿 乙への縁

麻 月 丁 乙への縁 乙への縁

松 栲 栲 乙への縁 乙への縁

松 栲 栲 乙への縁 乙への縁

月 乙への縁 乙への縁 乙への縁

麻 乙への縁 乙への縁 乙への縁

月 乙への縁 乙への縁 乙への縁

日 乙への縁 乙への縁 乙への縁

乙への縁 乙への縁 乙への縁

かきつらぬ...  
記す後一宗院の江戸...  
ら白川の滝の上...  
らう頼基某...  
のまふ...  
まうとく...  
とて...  
おはあ...

名 橋 虎 為 花 友 何 名 子 一 森 十 六 八 宮  
抄 衣 月 あり ね 古 宮 松 後の 下 石 杉 杉  
け くら 寺 神 社 見 名 山 井 山 井 元 井 花 山  
る の 十 花 岡 名の 一 後の 妻 玉 山 人 一 山 人の  
浦 五 聖 月 淡 日 海 日 寺 日 津 日 都 日  
日 様 了 意 心 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊  
日 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊  
日 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊  
日 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊  
陸奥 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊 山 邊



名号

平原四極 志乃山 一本をい

音 卯花 いろはの 物 音

月 後 指 一の 子 男 一 終 万 音 合

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

らいて氷と物とあり

小倉招 志乃山 下 栄 谷川 志乃山 松

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山 志乃山

増補抄の巻

二六廿

時鳥 新冬 子鳥 後千 夕立 お祭 音 冬 冬 冬

木下 次 音 雲 柗柴 新冬 西木 冬 柗人 秋 家 秋 秋原

あつら 後合 小松原 日

伊勢比良川 新冬 ちのけ 新冬 本手 新冬 ちのけ

相換 日向 ひらり 後合 日 後合

近 比良 ひらり 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合 ちのけ 後合

石見日映 花 松浦の仲 後合

石見日映 花 松浦の仲 後合

肥前

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志

松浦の仲 後合

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志

松浦の仲 後合

松浦の仲 後合

肥前比佐志 一本末物玉二入



肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

肥前比佐志 一本末物玉二入

夏今

上野物用

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

白雲の付る... 兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

神思山 後合

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

あれは... 兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

兼邦

一、...  
 有...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...



Vertical text on the right side of the page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are faint and difficult to decipher, but appear to be arranged in a column.



